

# 川の国埼玉 はつらっプロジェクト 提案書

主題（テーマ）

～ おくのほそ道の風景地 草加松原から  
かわと共に巡る伝右川遊歩道 ～

提案箇所

**伝右川／草加市にぎわい交流エリア**

**草加市**

本市では、昭和40年代から治水対策事業を優先してきた結果、川と触れ合える場所が激減したことから、近年はかわのまちづくりや水辺再生100プラン等を活用し、まちづくりと併せ川を中心とした親水護岸や遊歩道などの憩いの場所の整備を進めてきました。

本提案では、伝右川の遊歩道整備と連携し、国指定名勝「おくのほそ道の風景地 草加松原」などの観光資源を活用し、来草者のまちなかへの回遊性を高めるとともに、川沿いにある観光拠点をネットワーク化し、誰もが楽しめる「にぎわい交流エリア」の形成を図ります。

## 取組のイメージ図



## 計画等の位置付け

### ■第四次総合振興計画

草加駅・松原団地駅周辺及び大学などの一帯をにぎわい交流エリアと位置付け、文化・にぎわいの交流の推進に取り組む。

### ■都市計画マスタープラン

主要河川や緑道などにより水とみどりのネットワークの形成を図るため、親水空間などの計画的な整備、適正な維持管理に取り組む。

草加市文化会館、綾瀬川左岸広場及び草加松原周辺を文化核とし、文化交流にふさわしい拠点づくりと景観の保全を図る。

### ■草加市観光振興計画

国指定名勝「おくのほそ道の風景地」草加松原となった松並木や、他の観光資源をネットワーク化し、本市のブランド力の向上を図り、多くの方々が訪れるまちを目指す。

## 目標・成果指標

### ■にぎわい交流エリアと各地区での取り組み

「草加松原」を重点とした観光施策の推進を図り、文化・にぎわい交流エリアとして、にぎわいの創出を進める。

獨協大学や都市再生機構とも連携し、伝右川を軸に、草加宿エリアから草加安行地区までの回遊を図る。

### ■水質改善

市内を流れる河川は地形や護岸の条件により自然浄化能力が低く、生活排水等が水質汚濁の原因になっていることから公共下水道の普及等により改善を図っている。

環境指標(BOD75%)	現状値	目標値
綾瀬川	3.6mg/L	3.4mg/L
伝右川	2.9mg/L	2.7mg/L

## 位置図



- ①松並木(草加松原)
- ②望楼
- ③札幌河岸公園
- ④伝右川遊歩道
- ⑤獨協大学
- ⑥UR団地
- ⑦綾瀬川左岸広場
- ⑧プロムナード
- ⑨旧日光街道宿場町
- ⑩百代橋
- ⑪矢立橋



## 川の状況

- 市内の伝右川は延長7.7km  
綾瀬川は延長7.7km
- 活動団体 4団体  
(うち川の国応援団の登録 3団体)
- 川の特徴
  - ・国指定名勝「おくのほそ道の風景地」草加松原は観光スポットとなっている。
  - ・札幌河岸公園付近では遊歩道が整備されている。
  - ・伝右川は獨協大学から綾瀬川まで遊歩道整備が進められている。
- 過去の事業
  - ・水辺再生100プラン  
伝右川遊歩道の整備:延長2.0km
  - ・かわまちづくり  
綾瀬川左岸広場親水護岸整備

## まちの状況

- 地域資源
 

国指定名勝の松並木や、綾瀬川や伝右川の親水空間など有数の地域資源が点在している。

大規模な建て替えが進められているUR団地コンフォール松原があり、対岸には獨協大学が立地している。

団地の建て替えに伴い、良好な住環境整備と併せ、新たにぎわい交流拠点の整備に取り組んでいる。

草加安行地域には、伝右川沿いに桜並木がある。「おくのほそ道の風景地 草加松原」の縁を活かして、日光街道の文化と宿場町の伝統を軸とした観光施策を推進し、さらに魅力のある観光資源にするために育成を進めている。
- 課題
  - ・観光に関する環境整備の促進
 

来草者へのおもてなしの拠点、観光スポットの整備や情報配信、観光客受け入れのための案内板・サイン等の多言語化などの整備。
  - ・伝統産業の効果的な活用
 

草加せんべい、浴衣染め、皮革産業をより魅力ある観光資源として活用できるような効果的な取組み。

## 位置図



## 事業等の概要

### ハード

- 来訪者の拡充
  - ・ コミバスを活用して、草加松原遊歩道、谷古田用水及び葛西用水地区に行く親水護岸を回遊できるルートの実現
  - ・ お休み所等の整備
  - ・ 地域による和舟の舟行
- まちづくり
  - ・ 松原排水機場の増強
- ライトアップ
  - ・ 札場河岸公園桜並木及び橋りょうのライトアップ

### ソフト

- 観光資源の充実
  - ・ 文化、にぎわい交流エリアとして、イベントやコンサートを活用した、にぎわいの創出
  - ・ 獨協大学や都市再生機構と連携して観光イベント等の取組を進める
- 情報発信
  - ・ 観光ガイドマップの作成
  - ・ フェイスブックの活用
  - ・ 広報紙やイベントでの啓発活動

## 工程表・想定事業費

	H28	H29	H30	H31	H32	想定事業費
松原排水機場の増強		●————●				262百万円
桜並木のライトアップ		●●	●●	●●	●●	1.2百万円
観光ガイドマップの作成		●●	●●	●●	●●	2百万円
和船の運行	●————●					46百万円

## 位置図

### 長寿命化(防食矢板)整備



### 親水護岸整備



### 凡例

整備済み	<span style="color: green;">■</span>
H28年度整備予定	<span style="color: blue;">■</span>
はつらつ整備要望箇所	<span style="color: red;">■</span>

## 実施してほしい整備概要

- 伝右川長寿命化整備 (延長 約1,250m)
  - ・鋼矢板の防食整備工事
- 遊歩道整備関連
  - ・遊歩道の照明設置工事 (延長 約350m 1基/50m)
  - ・プロムナードの舗装 (延長 約120m)
  - ・転落防止フェンス整備 (延長 約350m)
  - ・接岸ポイントの整備 (1ヵ所)

## 工程表・想定事業費

	H28	H29	H30	H31	H32	想定事業費
伝右川長寿命化整備		●————●				463百万円
遊歩道整備		●——●				21百万円

伝右川周辺の維持管理や施設の活用については、河川管理者や、まちづくりに関わる都市再生機構、獨協大学と検討するとともに、にぎわいづくりについては、地域の町会・自治会と連携し進めていきます。

施設の維持管理等については、既に清掃活動を実施している町会・自治会や環境保全団体などとも連携できるように調整します。

## 協議会の体制

- 構成員(予定)
  - ・草加市
    - 都市計画課、総合政策課、文化観光課
    - 建設管理課、環境課
  - ・県関係
    - 越谷県土整備事務所
  - ・関係団体
    - 都市再生機構
    - 獨協大学
    - 今様草加宿市民推進会議
  - ・地域住民等
    - 沿川の町会長・自治会長ほか
- 事務局
  - 草加市 都市計画課 調整係

## 庁内推進体制

- 担当課(役割)
- 草加市
  - ・総合政策課(総合政策部)  
(事務局)
  - ・都市計画課(都市整備部)  
(調整等)
  - ・建設管理課(建設部)  
(施設整備, 維持管理等)
  - ・文化観光課  
(観光政策・支援等)
  - ・環境課  
(環境施策等)

## その他(地元の熱意等)

- 綾瀬川流域クリーン大作戦
 

綾瀬川や伝右川では、河川に不法投棄された自転車の引き上げなど、清掃活動を実施しており、FSCサルベージ協会、草加環境推進協議会等の共催で実施している。
- 和船の運行
 

「なかね和船の会」が主催し、綾瀬川で和船の運行を計画。定期的に試乗船会を開催。
- 草加宿神明庵(観光案内所・お休み所・お土産販売)
 

地域住民が運営協議会を設立し、ボランティアによる運営。  
1階は観光案内所。2階はギャラリーとして開放。旧日光街道草加宿に訪れた来草者へ、観光案内、お休み所の提供、お土産の販売、イベント開催、宿場まつりとの連携など活動している。

獨協大学周辺の伝右川沿い遊歩道の活用については、松原団地建替事業を進めるに当たり、市、獨協大学、都市再生機構で三者協議会を構成していることから、松原団地建替事業におけるハード整備と併せ、まちなぎわいづくりの一環として、ソフト整備の位置づけとして、三者協議会を活用し、協力体制を行っていく。

また、三者協議会を活用することで団地自治会などの関係者と学生などの大学関係者をつなぎ地域の結びつきを高める。

## 活用計画案

### ■伝右川遊歩道と松並木の連携

伝右川沿いの遊歩道と松並木を連携させ川沿いの観光資源を巡るネットワークを構成し、来草者を川を經由して市街地へ回遊させる仕組み作りに取り組む。

伝右川沿いの遊歩道を整備、開放することで春には、札場河岸公園から遊歩道を經由し、獨協大学キャンパス内の桜の開花を楽しむことができる。

### ■綾瀬川での和船の運行

かわまちづくり計画で整備した綾瀬川左岸広場の親水護岸を活用し、和船の乗船体験会を実施している。和船の運行は近隣町会・自治会が組織した「なかね和船の会」が実施。市は運営の支援を行っている。

### ■草加ふささらまつり

市内各界や市民がともに支え合い相互理解を深め、それぞれが力を併せ「市民力・地域力」を高めるとともに、にぎわいとイベントによる地域再生を目指し、おくのほそ道風景地草加松原の松並木や綾瀬川左岸広場を使い開催している。

### ■札場河岸公園桜の木ライトアップ

桜の開花時期に併せ夜間、札場河岸公園の桜のライトアップ試行を実施し、来訪者にアンケート調査を行い、今後の対応について検討を行っている。

### 既存のイベント

#### ・獨協大学まつり

主催者：獨協大学

会場：獨協大学キャンパス（伝右川親水護岸）

内容：獨協大学の学園祭。親水護岸等も活用し地域に開かれた学園祭を開催。

草加ふささら祭りとの連携も実施した実績もあり、地域に開かれた大学を目指している。

#### ・宿場まつり

主催者：地域住民等による実行委員会

会場：旧日光街道を中心とした草加駅東側周辺で開催

内容：草加人のもてなしの精神で、歴史や文化を活かした個性と活気あふれる草加宿を、市内外に表現していくため開催している。神輿や大名行列など様々なイベントを実施している。

平成22年度に、伝右川水辺再生事業検討会を設置し、河川環境整備の内容や整備後の維持管理の役割分担について意見交換を行っている。  
 今後の整備に当たっても同検討会をベースとして、維持管理等の役割分担について取り組みを検討する。

## 維持管理の概要

### ■対象施設

伝右川管理用通路  
 親水護岸

### ■実施主体

市、町会・自治会、都市再生機構、獨協大学

### ■内容と役割分担

- ・伝右川管理用通路の舗装等維持管理修繕
- ・植樹、植栽の維持管理
- ・伝右川管理用通路の除草、清掃
  - 雑草刈払 ……町会・自治会・獨協大学
  - 舗装の補修 ……市
  - 植樹、植栽の管理……市
  - 松原団地関連 ……都市再生機構

### 【既存の活動】

- ・草加環境推進協議会(川の国応援団)
  - 場所: 綾瀬川
  - 内容: 草刈、ごみ拾い
- ・FSCサルベージ協会
  - 獨協大学サークル Deco
  - 場所: 綾瀬川、伝右川
  - 内容: 清掃活動、ごみの引き上げ
- ・町会・自治会連合会
  - 場所: 綾瀬川、伝右川
  - 内容: 水質検査

## 持続的・自立的な維持管理に向けた取組

■まちづくりを通じて獨協大学、都市再生機構、市で定期的に協議会を開催し、維持管理の実施状況や課題等の把握に努めます。

■草加市町会・自治会連合会及び草加市コミュニティ協会共催による水質検査の実施を継続してつづけ、市民へ環境への関心を高める啓発を行う。

■環境浄化活動を広く市民に周知し促進するため、広報やホームページで活動を紹介し、広く参加を募ります。

■河川清掃活動を通じ河川をいたわること、河川環境の大切さを伝えるためサルベージ活動を実施している地元の団体と協力体制をつくり、市民活動の一環として取り組みを継続させる。

### 【既存の支援制度】

- ・川の国応援団美化活動団体登録制度(県)
  - <概要>
  - 美化清掃活動を行う登録団体に対し、ボランティア保険の加入、ごみ袋、軍手等の支給。
- ・緑化推進団体等助成金(市)
  - <概要>
  - 緑化推進団体(緑化の推進及びみどりの保全に協力する市民活動団体)の活動事業費の一部を補助する。

■ 本市のほぼ中央に、綾瀬川と旧日光街道草加宿があり、江戸時代中期頃から河岸（荷物の積み下ろし場）が設けられ発展した歴史があることから親水空間を活かした、まちのにぎわいづくりに取り組んでいる。

■ 綾瀬川沿いにある松並木は、国指定名勝「おくのほそ道の風景地 草加松原」として登録されたことから松並木と併せ綾瀬川沿いに整備されている札場河岸公園や綾瀬川左岸広場と連携し、観光資源として地域の活性化に生かせるよう取り組みを行っている。

■ 水辺再生100プランで整備した伝右川遊歩道は左岸側に「東洋一のマンモス団地」と言われた松原団地、また右岸側には多くの学生でにぎわう獨協大学があり、にぎわいを創出する場所として恵まれた環境にある。

現在、松原団地は建替事業が進められている他、獨協大学はキャンパス再編事業が実施されているなど、新たなまちとして生まれ変わろうとしていることから、松並木の歴史スポットと新市街地を結ぶネットワークとしての活用を期待できる。

■ 獨協大学キャンパスと、伝右川と綾瀬川の結節点にある札場河岸公園近辺の桜並木は人気のスポットであり、両地点を結ぶ伝右川遊歩道の伝右川護岸整備による、長寿命化・美装化は、交流拠点を結ぶネットワークとしての活用が見込まれる。

■ 綾瀬川、伝右川の水辺空間を活用することで、市内の観光資源をネットワーク化でき、にぎわいづくりへの相乗効果が見込まれる。

